

野村万作 新狂言の会

万作・萬齋親子による
カラーレ狂言の季節。

闇に浮かぶ能舞台、
水面に揺れる二本のかがり火、
三日月の夜、野村万作・萬齋親子が舞う。

狂言 佐渡狐
狂言 業平餅



2002年 9月10日(火)

開場18時30分 開演19時

黒部市国際文化センターカラーレ

野外能舞台 / 限定400席

◆出演 野村 万作 野村 万之介
野村 萬齋 石田 幸雄 他

◆入場料 (全席自由)
一般 6,000円 高校生以下 2,000円

■5歳未満のお子様の入場はご遠慮願います。一時保育を希望される方は事前にご連絡ください。(無料)
■雨天の場合も上演します。会場内で傘のご使用はできませんので、雨合羽等をご用意ください。

●プレイガイド

【黒部市】カラーレ ☎0765-57-1201 メール ☎0765-54-2221
【魚津市】新川文化ホール ☎0765-23-1123 魚津サンプラザ ☎0765-24-3030
【入善町】コスモホール ☎0765-72-1105 コスモ21 ☎0765-74-9100
【宇奈月町】宇奈月国際会館 ☎0765-62-2000
【朝日町】アスカ ☎0765-82-2000
【富山市】インフォーマ (市民プラザ ☎076-491-0110 CIC駅前店 ☎076-444-7013)
【婦中町】アルプラザ富山 (ファボール内) ☎076-466-1828
【高岡市】高岡大和 ☎0766-27-1774

●お問い合わせ・チケットの申し込み

カラーレ

富山県黒部市三日月20番地 TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207
E-mail: info@colare.jp URL: http://www.colare.jp/
開館時間 / 9:30~22:30 (土曜~23:00) 毎週水曜日休館

主催 / 財団法人黒部市国際文化センター
協賛 / チューリップテレビ・富山エフエム放送 後援 / 黒部市・黒部市教育委員会

コラーレ狂言の季節

コラーレの野外能舞台での薪狂言の季節になった。数を重ねて、定着した観客、そして新しい人々に狂言を観ていただけるのを嬉しく思っております。プログラムを考える当方も、面白い曲、賑やかな曲をなど、思いをめぐらして演目を考えます。今回の「佐渡狐」は今最も上演頻度の高い、役人がワイロを受けるという現代的なテーマの曲。「業平餅」は、在原業平が空腹のあまり餅を盗んで食べるという面白い狂言です。当日の天候を気にしながら待つ気持ちは、観客、主催者、演者三者一体の結びつきかと思えます。

万作 万齋



野村万作 (狂言師)

一九三二年生れ。故6世野村万蔵(入間国宝)の次男。祖父初世野村萬齋及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。早稲田大学文学部卒業。狂言の最高秘曲である「釣狐」の演技で芸術祭大賞を受賞した他、紀伊国屋演劇賞、芸術院賞、紫綬褒賞、坪内逍遙大賞など多くの受賞歴を持つ狂言界の最高峰。国の内外で狂言普及に貢献。古典はもとより新しい試みにもしばしば取り組む。一九九四年NHKで「釣狐に挑む」と題するドキュメンタリーが放映され、多くの人々に感銘を与えた。名古屋女子大学客員教授。著書に「太郎冠者を生きる」(白水社)がある。

野村万之介 (狂言師)



一九三九年生れ。故6世野村万蔵(入間国宝)五男。父に師事。重要無形文化財総合指定者。万之介狂言の会主宰者。狂言界の代表的演者の一人。芸術選奨新人賞受賞。亡父の洒脱な芸を継承している。「野村狂言団」万作の会」の重要メンバーとして、海外公演にもたびたび参加。また、大学の狂言サークルを指導して久しい。

野村萬齋 (狂言師)



一九六六年生れ。野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。東京芸術大学音楽部卒業。3歳で初舞台後、三番叟や最高秘曲「釣狐」「花子」などを披露。近年は狂言の演出、脚色も務め、現代に生きる狂言師として狂言の普及を目指す。一方で映画や舞台、TVドラマに出演するなど、幅広い活躍も目立つ。九四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。九九年には第五十四回文化庁芸術家演劇部門新人賞第7回読売演劇大賞男優賞を受賞。東京大学非常勤講師。著書に「萬齋でござる」(朝日新聞社)がある。

石田幸雄 (狂言師)



一九四九年生れ。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた三〇年の舞台歴を持つ野村家の重要な演者。大曲の三番叟「釣狐」「花子」をすでに初演。また新しい作品についての試みにも意欲的な発表が多い。海外公演の経験も豊富である。



薪狂言番組

解説 石田幸雄

火入の儀

狂言 佐渡狐 さどぎつね

年貢を納めに上京する、越後の百姓と佐渡の百姓が道連れとなった。越後の百姓が「佐渡には狐がいないのだらう」と言う、佐渡の百姓は「狐はたくさんいる」と言い張り、二人は刀を賭けることとなった。実は佐渡には狐がおらず、狐を知らない佐渡の百姓は都に着くと、領主の館の奏者(取り次ぎの役人)に賄賂をつかい、狐の姿形を教わっておく。そして、両人はそろって奏者の前に出て裁断を仰ぐと、奏者は「佐渡に狐はいる」と答えるが……。

奏者 野村万作

越後の百姓 高野和憲
佐渡の百姓 野村万之介
後見 月崎晴夫

狂言 業平餅

なりひらもち

色好みで有名な在原業平は、大勢の供を連れ、玉津島明神参拜に出かける。道中、空腹の業平は餅屋で餅を食べようとするが、殿上人の常として金を持っていない。餅づくしの謡を謡いながら、うらめしそうに餅を見る。餅屋は業平と知って、娘の宮仕えを頼み、娘を呼びに入る。そのときに業平はあわてて餅をほおぶるので、のどにつかえてしまう。業平は娘の美しい姿だけを見て妻にもらう。しかし、いざ被衣(かずき)を取ると……。

在原業平 野村萬齋

餅屋 石田幸雄
稚児 野村彩也子
太夫 深田博治
侍 月崎晴夫
杵持ち 野村良乍
傘持ち 野村万作
餅屋の娘 竹山悠樹
後見 高野和憲